

A. 主な動き

1. 内政

▼言語関連法案審議を巡る動き

・11日、「BYTーバチキフシナ」議員2名は、5日に「国家の言語政策の基本方針に関する」法案が最高会議第一読会にて採択された際の手続きにおいて違法行為があったとして、高等行政裁判所に提訴。

・13日、キバロフ地域党議員は、19日に同法案を第二読会において採択する意向である旨発言。これに対し、15日、リトヴィン最高会議議長は、19日に同審議を行なうことは手続き上不可能である旨発言。

▼ティモシェンコ前首相等に関する動き

・11日、欧州議会からティモシェンコ前首相の公判を監視するためにウクライナに派遣されたクファシニエフスキ元ポーランド大統領及びコックス元欧州議会議長は、ティモシェンコ前首相の娘エフゲニヤ・ティモシェンコ氏党と面会。

・13日、米国「Bloomberg」社は、1996年のシチエルバニ最高会議議員暗殺事件にティモシェンコ前首相が関与したと考えている旨の発言を含むヤヌコーヴィチ大統領インタビューを発表。これに対し、同日、「バチキフシナ」党は、同発言によりヤヌコーヴィチ大統領の裁判過程への関与が明らかになった旨の声明を発表。

・14日、国家刑務所管理庁は、ハルムス欧州緑の党共同代表及びシュリツ欧州議会議員がハルキフ市国鉄中央病院を訪問し、ティモシェンコ前首相と面会した旨発表。

・15日、米国「Time」誌は、ウクライナ国内及び欧州人権裁判所における裁判プロセスの終了後にティモシェンコ前首相に恩赦を認める可能性への言及を含むヤヌコーヴィチ大統領インタビューを発表。

▼大統領の動き

・11日、ヤヌコーヴィチ大統領は、クファシニエフスキ元ポーランド大統領及びコックス元欧州議会議長と会談。

・11日、15日両日、ヤヌコーヴィチ大統領は、サッカー欧州選手権におけるウクライナ代表チームの試合を観戦。

・13日、ヤヌコーヴィチ大統領は、地方行政府長官候補者の会合に出席、貧富の差の縮小が政府の重要な課題である旨発言。

▼その他

・11日、カリニン国家保安庁長官は、昨年10月13日ハルキフ、同10月21日ザポリジャ、同11月16日及び今年4月27日ドニプロペトロフスクでそれぞれ発生した4件の爆発及び昨年11月16日のドネツクでの爆発予告を一連の事件として捜査することになった旨発表。

・12日、フリホロヴィチ「我々のウクライナ」党議員は、同党はユーシチェンコ前大統領を代表として独自に最高会議選挙に臨む旨発言。15日、「専制政治反対委員会」は、ヤヌコーヴィチ政権との協力を理由として「我々のウクライナ」党を同「委員会」から除名することを決定した旨発表。

▼世論調査

[キエフ国際社会学研究所]

・5月末に最高会議選挙が実施された場合の政党支持率(態度保留回答及び投票意思の無い者を除く)

地域党:27.7%、「バチキフシナ」党(「変化の前線」党との協力):26.3%、「ウダール」党:15.5%、共産党:9.8%、「スヴォボーダ」党5.1%、「ウクライナー前進」党4.8%等

・調査は5月23日から6月1日にかけて2,042名の成人を対象に実施。

[ラズムコフ・センター]

・6月初旬に最高会議選挙が実施された場合の政党支持率(投票意思の無い者を除く)

地域党:27.6%、「バチキフシナ」党(「変化の前線」党との協力):25.6%、「ウダール」党:9.7%、共産党:7.1%、「ウクライナー前進」党4.6%、「スヴォボーダ」党3.1%、態度保留15.0%等

・調査は5月31日から6月6日にかけて2,012名の成人を対象に実施。

2. 経済

▼マクロ経済

・13日、世界銀行は、世界経済の見通しを考慮し2013年のウクライナの経済成長率を3.8%に下方修正した旨報告(本年1月での予測は4.0%)。

▼財政・金融

・13日、ヤヌコーヴィチ大統領は、現在の156億ドルの救済融資の期限後、2013年にIMFからの新たな融資スキームを模索している、IMFプログラムは旧ソ連が抱える問題点、良好な点を示すバロメーターである旨発言。

・14日、ホロシコフスキー第一副首相は、ウクライナにおける債務不履行の可能性はない、ウクライナは債務返済に必要な全ての資源を有しており、予算残高と経済の発展を考慮すれば、債務不履行の脅威はない旨発言。

▼貿易

・12日、国家統計局は、貿易赤字額が2012年の4ヶ月間(1-4月期)において、対前年同期比13.5%増の43億8,000万ドル(輸出は同4.8%増の219億6,000万ドルだった一方、輸入は同6.2%増の263億4,000万ドル)に達した

旨報告。また、日本への輸出は同381%増の2億2,225万ドル、輸入は同45.6%増の4億2,170万ドルに達した旨併せて報告。

▼農業

・13日、農業政策・食料省は、新市場年(2012年7月～2013年6月)における穀物輸出量見通しを2,300万トンと発表。

▼ガス問題

・11日、ボイコ・エネルギー・石炭産業相は、ウクライナは50億立方メートルの天然ガスを独RWEから輸入する可能性がある旨発言。

3. 外政

▼グリシチェンコ外相の訪伊・中欧イニシアチブ外相会合出席

・12日、グリシチェンコ外相は、伊トリエステで開催された中欧イニシアチブ(CEI)本部における幹事会合に出席し、11月末のCEIビジネスフォーラム準備状況及びCEI内の関係強化等に関し協議。

・同日、同外相は、伊シンクタンクFareFuturoにおいて講演し、DCFTAを含むウクライナ・EU連合協定の締結はイタリア製品の市場拡大にもつながるとし、早期署名の必要性を強調。

・13日、グリシチェンコ外相は、CEI外相会合に議長として出席し、地域の関係強化、CEIの国連総会オブザーバー資格の活用問題及び2013－2015年CEI行動計画等に関し協議。

▼ヴァシッツェ・グルジア外相の来訪

・15日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナを訪問したヴァシッツェ・グルジア外相と会談。両者は、両国の貿易・経済関係及び今後の関係強化の展望に関し協議。

・同日、グリシチェンコ外相は、ヴァシッツェ外相と会談し、ウクライナ、グルジア及び欧州のエネルギー安全保障を目的とする黒海・カスピ海エネルギー・プロジェクト実現の展望及び欧州統合に向けた両国相互協力等に関し協議。

・同日、ヴァシッツェ外相は、欧州サッカー選手権「スウェーデン対イングランド」戦(於キエフ)を観戦。

▼その他

・13日、フレデリック・デンマーク皇太子は、リヴィウを訪問し、欧州サッカー選手権「デンマーク対ポルトガル」戦を観戦。

・13、14両日、ストラスブールにおいてウクライナ・EU議会間協力委員会が開催され、東方パートナーシップ、EURONEST(EU・東方パートナーシップ対象国議員会合)、査証問題及び経済協力等のウクライナ・EU関係に関し協議の上、公平で民主的選挙の保証等をウクライナ政府に対して求める旨の声明を発表。

4. 防衛

・14日、ウクライナとロシアは、2012年末までに近代化されたAn-124-100輸送機の大量生産再開計画への国家支援に関する政府間協定を締結。

(了)